

獣害対策 3本の柱

1 近づけない

野生動物が好むのは、「安全」で「エサがある」場所。農地への被害を減らすためには、そもそも野生動物が寄りつかない環境づくりが重要です。

2 いれない

野生動物が侵入できないように、侵入防止柵でしっかり農地を囲いましょう。人里を怖い場所だと覚えさせるため、集落全体での継続的な追い払いも有効です。

3 増やさない

増えすぎた野生動物の数を減らしたり、獣害をもたらした加害鳥獣を捕獲することも獣害対策の要。有害鳥獣の捕獲には狩猟免許などが必要なので、ハンター養成が必須です。



地域の要望を受けて猟友会が協力 有害鳥獣捕獲活動

獣害を防ぐためには、田畑を柵で囲うなど、個々の農家による対策が重要ですが、繁殖力の高い野生動物の個体数を調整することも必要です。そのため、名張市猟友会は、市からの委託などにより有害鳥獣捕獲活動を行っています。

要望を受けた地域で実施 有害鳥獣共同捕獲

4月～10月の日曜日に実施
(7・8月は除く)

あらかじめ区・自治会から駆除の要望を受けた地域で、「巻狩り」という狩猟方法を用いてシカ・イノシシの追い払いと捕獲を行っています。

要望を受けた地域の中から、安全確保や獲物の状況などを複合的に判断して実施場所を決定します。回数も限られているため、**全ての地域で実施できるわけではありません。**

ハンターが自主的に実施 緊急捕獲活動

4月～10月に実施
(有害捕獲活動期間)

市から「有害鳥獣捕獲等許可証」の交付を受けたハンターが、銃器やわなでシカ・イノシシを捕獲した場合に、頭数に応じて捕獲活動経費を支払います。

有害鳥獣捕獲には、狩猟免許の他に、市の有害鳥獣捕獲等許可証が必要です。

知ってる?? 巻狩り

シカやイノシシなどの大型鳥獣を捕獲する際に用いられる狩猟方法。「勢子」(獲物を追い込む役割の猟師)が猟犬を使って獲物を追い込み、獲物の逃げ道に待機している「マチ」(獲物を仕留める役割の猟師)が銃器で仕留めます。

通常は10人程度で行われ、日頃からの訓練や猟場の知識、経験が必要。中でも、猟師と猟犬とのチームワークが特に重要です。



急務 野生動物から 農作物を守れ!



農地と山の境に仕掛けた箱わな



田畑まで出てきたシカの足跡

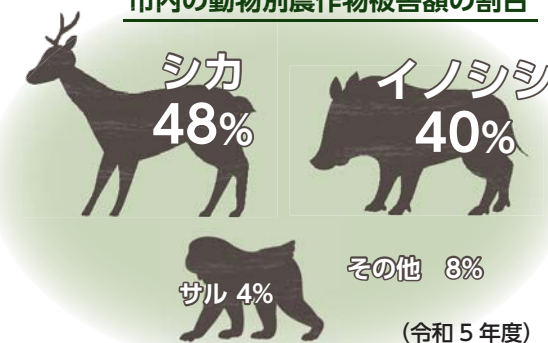


サルによる食害に遭い、実にかけていた袋を落とされたぶどう園

農作物に大きな影響を与える、シカやイノシシなどによる獣害。長年有害鳥獣の捕獲に協力いただいていた猟友会は、会員の減少やハンターの高齢化などの課題を抱えています。野生動物による被害を減らしていくためには、「捕獲」だけでなく、地域ぐるみで獣害対策に取り組んでいく必要があります。

☎ 農林資源室 ☎ 63・7625

市内の動物別農作物被害額の割合



**有害鳥獣による被害は
農業の大きな課題**

市内の令和5年度の有害鳥獣による被害額は約987万円。特に被害が大きいのが稲で、被害額の60%を占めています。

広域的な防護柵の整備や、猟友会による有害捕獲活動などによって、被害額はわずかに減少傾向にありますが、獣害に悩む農家は多いのが現状です。手間暇

をかけた農作物が被害を受けることで営農意欲を削がれ、農業をやめてしまう人もいます。「食」を支える農業がこれ以上衰退しないためにも、獣害対策は喫緊の課題なのです。

**有害鳥獣の種類によって
被害や対策方法はさまざま**

市内で特に被害が大きいのは、シカやイノシシによる被害です。シカはほぼ全ての植物を食べ、イノシシは農作物を食べるだけでなく、収穫後に残った葉や野菜くず、樹皮などの植物全てがシカを寄せつける原因になります。高い跳躍力を持ち、地面と柵との隙間から潜り込んで侵入することも多いため、侵入防止柵を1.8m以上の高さにするなどの対策が必要です。

イノシシは農作物を食べるだけでなく、地面を掘り返して田畑を荒らすやっかい者。鼻で約70kgを持ち上げることができるため、柵が破られないように注意が必要です。イノシシは警戒心が強く臆病な性格のため、周辺の草を刈って隠れ場所をなくすることも効果的です。

動物によって被害状況や対策方法はさまざま。動物に合わせた対策とともに、そもそも動物を農地に寄りつかせないことが重要です。

名張市・伊賀市に、クマアラート（注意報）発表中

▼8月4日まで
(6月25日現在)

▼6月に3件の目撃あり

狩り 攻め

自分の農地は自分で守る意識が大切

獣害対策は、「自分たちで作る農作物は自分たちで守る」ことが原則。一人ひとりが自ら積極的に対策していくことが大切です。ただ、個人の対策だけでは限界があります。より効率的で効果の高い獣害対策に向けて、地域全体で力を合わせて、総合的・継続的に取り組んでいかなければなりません。「獣害対策の3本柱」に基づいて、市のサポートなども活用いただきながら、地域全体を「加害鳥獣にとって行きたくない場所」にしていきたいと思います。

無意識に餌付けしてない？

「エサ場」を作らない

放任果樹や稲のひこばえ（稲刈り後の株から生える若芽）、収穫後に残る茎や野菜くずなどが、いつの間にかエサに……。被害にはならないから」と対策しないと、農地が「エサ場」と認識されてしまいます。収穫後もきちんと対策を！

！ カキ・クリの木の伐採費の一部を補助

気付かないうちに破られてない？

侵入防止柵の適切な管理を

きちんと囲っているつもりでも、気付かないうちに柵に穴が開いていたりして、効果がなくなっている場合が！ 設置後も適切な管理が必要です。

- ！ 大規模防護柵の資材を支給（団体対象）
- ！ 侵入防止柵設置費用の一部を補助

農地への安全なルートはない？

動物の潜み場所をなくそう

適切に管理されていない藪や森林が農地の周辺にあると、野生動物が人に姿をさらすことなく農地に近づける環境を提供していることになります。動物の潜み場所にならないように、農地周辺の藪や森林は適切に管理しましょう。

集落を「怖い場所」にしよう！

サル対策には「追い払い」

サルに有効なのが「追い払い」。ただし、被害があった時や各々の農地だけで行っていると、追い払いに慣れたサルを育てることになる可能性も。効果的な追い払いには、集落全体で継続的に行うことが大切です。

！ サルの出没地域にロケット花火を支給

地域でもハンター育成を！

農地周辺でもわなで捕獲を

獣害対策には、実際に被害をもたらしている個体を捕獲することも重要です。わなが効果的ですが、設置には狩猟免許が必要です。免許の取得やわなの設置には、費用や時間がかかります。地域でサポートしながら、ハンターを育成していくことも大切です。

！ 宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会で、狩猟者育成プログラムを実施

！ 有害捕獲活動期間内の捕獲頭数に応じて捕獲活動経費を支給

！ 補助金額や申込方法など、詳しくは市役所 4 階 農林資源室（☎ 63 - 7625）にお問い合わせください。

※すでに定員や予算上限に達している場合があります。ご了承ください。

！ 侵入防止柵の設置補助について、詳しくはこちら

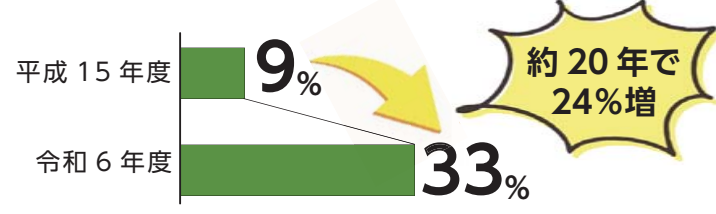
地域で有害鳥獣捕獲の担い手育成を！

猟友会の協力で成り立つ有害鳥獣捕獲活動

動物は繁殖力が高いため、被害を食い止めていくためには、捕獲による個体数の調整が不可欠。昨年度の「有害鳥獣共同捕獲」と「緊急捕獲活動」では、合わせて527頭のシカやイノシシが捕獲されました。獣害対策に欠かせない、有害鳥獣の捕獲活動を担っているのが、名張市猟友会の皆さんです。

ただし、猟友会はあくまで狩猟愛好家の集まりであって、有害鳥獣駆除を行うための団体ではありません。野生鳥獣の捕獲には狩猟免許や狩猟者登録が必要のため、それらを持つ猟友会のハンターに、個々のボランティア精神で協力いただいています。

名張市猟友会 70歳以上の会員の割合



現在、市の有害鳥獣捕獲活動で大きな役割を果たしている猟友会では、会員数の減少と高齢化が課題となつていきます。多い時には約250人とされる会員も、現在は約100人まで減少。さらに、銃猟による「有害鳥獣共同捕獲」に協力できる人はその半数以下です。狩猟が生業ではなく、可能な範囲で協力いただいているため、駆除に対する要望全てに対応することが

できません。ハンターの高齢化も深刻で、平成15年度は9%だった70歳以上の会員の割合は、昨年度には33%に。現役世代のハンターは仕事や子育てなどで忙しく、有害鳥獣の捕獲への協力が難しいのが現状です。そのため、「有害鳥獣共同捕獲」参加者の平均年齢は、毎回70歳前後。地域ぐるみでハンターを育成するなど、有害鳥獣捕獲の担い手育成が必要です。

捕獲をできるのはハンターのみ——高齢化が課題に

獣害対策は、地域みんなで農地を守る意識が大切

世間では「猟友会＝駆除をする人たち」というイメージがありますが、それは大きな誤解。もちろん、地域の役に立ちたいという思いで、仕事や用事の合間を縫って、ボランティアの気持ちで有害捕獲活動に協力していますが、私たちは趣味の延長で地域に協力しているに過ぎません。狩猟は一歩間違えば人の命を奪いかねない危険なものです。ハンターは、狩猟税や保険などのお金や労力をかけて活動しています。実際のところ、猟友会が主体の有害鳥獣

捕獲には限界が来ていると感じています。市や地域でしっかり予算を割いて、有害鳥獣捕獲を業者に委託することなどを、将来的には検討していくべきだと思います。

獣害対策は、猟友会まかせにせず地域全体で取り組むべき課題だと考えています。地域の皆さんには、猟友会が有害捕獲活動をしやすいように、田畑の周辺や林道の維持管理をお願いします。また、有害捕獲活動においてご迷惑をおかけすることもあります。ご協力をお願いします。



名張市猟友会 垣本 佳之 会長